

現場説明書（技術的事項）

工事名称 丸之内公園便所新築給排水衛生他設備工事

1 現場の状況

工事場所は、丸之内公園敷地内です。

2 留意事項

【共通事項】

- (1) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (4) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。
- (5) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (6) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (7) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (8) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (9) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (10) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (11) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (12) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。

【特記事項】

- (1) 工事施工に必要な官公署への手続きは、公園整備工事の受注者において行なう予定です。手続きに必要な書類の作成等については、連携をもって進めてください。手続きの完了後は、速やかに報告してください。
- (2) 現場着手日及び仮設計画は、あらかじめ関連工事業者及び施設管理者と協議の上、決定してください。
- (3) 工事車両の出入は公園敷地東側の設置済みキャスターゲートを別途工事業者（公園整備工事）と、共同で使用してください。また、公園内の動線は別途工事業者（公園整備工事）と協議の上、別途工事である公園整備工事エリア内を利用してください。

- (4) 工事作業及び工事関係車両の搬入出は、8時～17時までとしてください。
- (5) 受注者は、地域行事の運営等を円滑に行えるよう、地域との調整に努めてください。
- (6) 現地工事完了後、関係法令に係る完了検査を受けますので、必要な書類の作成や現場立会いなど必要に応じて対応してください。
- (7) 施工前に、施工図を提出し監督員の承諾を受けてください。

3 別途工事

建築工事

電気設備工事

公園整備工事

丸之内公園便所新築給排水衛生他設備工事

図面リスト					
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
0/6	図面リスト	—	/		
1/6	機械設備工事特記仕様書No.1	—	/		
2/6	機械設備工事特記仕様書No.2	N.S.	/		
3/6	附近見取図 配置図	N.S.	/		
4/6	衛生平面図 器具表	1/50	/		
5/6	勾配図 柵リスト	N.S.	/		
6/6	換気平面図 機器表	1/50	/		
/			/		
/			/		

福山市建設局建築部設備課

① 管 (第1層まで)	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・排水用鉛管 (SHASE-S203) ・コーティング鋼管 ・耐火二層管 ・配管用炭素鋼管 (JIS G 3452) SGP
② 通気管	・配管用炭素鋼管 (JIS G 3452) SGP ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・耐火二層管
3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。
4 ビット内配管保温 (屋外)	・施工する ・施工しない
⑤ 方式	○ 自然排水 ・ポンプ排水
⑥ 管	○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (VP ※ VU)
⑦ インバート樹	・SA, AB形 ・SC形 ○ 小口径
⑧ インバート樹用蓋	○ 塩ビ製 ・鉄製 (MHA・MHB・小口径防護ハット)
9 排水樹	・RA, RB形 ・SC型 ○ 小口径
10 排水樹用蓋	○ 塩ビ製 ・鉄製 (MHA・MHB・小口径防護ハット) ・グレーチング ・鉄板製 φ 6m/m
⑪ 埋設深さ	・300m/m以上 (車両道路以外) ・600m/m以上 (車両道路) ○ 勾配図による。
⑫ その他	・配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。 ・配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の上満水試験を行う。

1 方式	・単管式 ・復管式
2 管	・鋼管 (JIS H 3300) (Mタイプ・Lタイプ) ・被覆鋼管 (呼び径20までとする) ・水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材(14mm以上)で被覆したもの) ・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・架橋ポリエチレン管 ・ポリブチン管
3 弁	・JIS 10K ・JIS 5K
4 熱源	・ボイラー (給湯器、湯沸器) ・電気温水器 (ヒートポンプ式給湯器)
5 膨張水槽	・ステンレス製 (鋼板製)
6 その他	・コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。 配管終了後、保温工事前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。

1 管	・水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・圧力配管用炭素鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG ・配管用炭素鋼管 (JIS G 3452) SGP ・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041) SGP-VS ※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。
2 弁	・JIS 10K
3 消火栓箱	・総合形 (HB-1A・HB-1B) ・単独形 (HB-2A・HB-2B) ・総合形 (HB-4A・HB-4B) ・消火器併設形 (HB-1AS・HB-1BS)
4 水源用水槽	・ステンレス製 (鋼板製)
5 消火ポンプユニット	・認定型 φ x / min x m kW x 台
6 ポンプ基礎	・標準型 ・防振型
7 消火器	・() 型 () 本 ・収納箱共 ・置合共 ・壁掛フック共
8 保温	イ) 呼水タンクの保温 ロ) 充水タンクの保温 ハ) 消火配管の保温は次による。 ・屋内消火栓用 ・スプリンクラー用 ・連絡送水用 ・連絡散水用
9 その他	水圧試験及び消防設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。

1 処理種別	・小規模合併処理 ・放流水質 (BOD mg/l 以下 COD mg/l 以下 T-N mg/l 以下 T-P mg/l 以下) ・合併処理 ・単独処理槽
2 構造	・分離接触ばっ気方式 ・長時間ばっ気方式 ・分層ばっ気方式 ・その他 ()
3 形式・容量	・ユニット型 (型 人槽 /日) ・現場施工型 (人槽 /日)
4 排水方式	・自然排水 ・ポンプ排水 ()
5 マンホール	・MHA型 ・MHB型 ・製造者の規格品
6 その他	工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。

1 種別	・都市ガス ・液化石油ガス
2 管	・配管用炭素鋼管 (JIS G 3452) (白管) ・圧力配管用炭素鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ・ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ・ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469) ・塩化ビニル被覆鋼管 ・鋼管継手 (亜鉛メッキ) ・PLS継手同等品以上・溶接継手
3 継手	・ () kg x () 本立 ・無
4 プロパンガス集合装置	・バルク貯槽 () kg ・整型 ・横型
5 機器等	・別図による
6 遮断装置等	・遮断弁 ・ガス漏れ警報器
7 その他	・取付は (・本工事 ・別途工事) とする。 ・配管接続は (・本工事 ・別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。 ・本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻し前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。

1 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">季節</th> <th colspan="2">屋外</th> <th colspan="2">屋内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0 %</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <p>※ 湿度調整機能がない設備については、成行とする。</p>	季節	屋外		屋内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %	冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %
季節	屋外		屋内																	
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																
夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %																
冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %																
2 冷水・温水・冷却水 冷温水管 膨張・補給水管	・水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・配管用炭素鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP ・一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・配管用炭素鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP ・断熱材被覆鋼管 (JCDA0009)																			
3 蒸気・油管及び冷媒管	・配管用炭素鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP 給、排水設備の項による。																			
4 ブライン管	・床置形 ・天吊形 (露出・隠ぺい形・カセット形)																			
5 給水及び排水管	・配管用炭素鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP																			
6 ファンコイルユニット 及びパッケージエアコン	・ステンレス製ベローズ形 ・合成ゴム製 ・枠及びスリットの材質は ・鋼板製 ・アルミニウム製																			
7 フレキシブルジョイント	・防煙ダンパー (SD) ・防火ダンパー (FD) ・防煙防火ダンパー (SFD) ・防煙ダンパーは ・電気式 ・空気式																			
8 吹出口・吸込口	・ダンパー復帰機構は ※ 遠隔式 ・手元式																			
9 防煙・防火ダンパー	・グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (共板工法・スライドオンフランジ工法・アングルフランジ工法)																			
10 風道	消音材を内貼りした風道、チャンバーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・空気漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。																			
11 冷温水管の空気抜	試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・空気調和機等又はフィルターチャンパーの装着枚数の () %を予備品 (枠付) として納める。																			
12 その他																				
13 予備品等																				

① ダクト	低圧ダクト (○ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法 (共板・スライド) ・アングル工法) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一番手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 ・グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 取付位置は (・図示した位置 ・遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・外気取入れダクト) とする。
2 風量測定口	空気調和設備の当該項目による。
3 ダンパー	・浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統
4 排気ダクトのシール	空気調和設備の当該項目による。
5 チャンパー	下記ダクトの保温を行う。 ・全熱交換器用のダクト (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ・(・厨房・湯沸室) のダクト (仕様はh・(イ)・Ⅶ とし範囲は図示による。) ・OAダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ25mm) ・EAダクト 外壁より1m (保温の厚さ25mm)
6 保温	

1 中央監視制御装置	・有り (構成機能図は図示による) ・無し
2 電源装置	・要 (・本工事 ・別途工事) ・不要
3 計装工事の配線	屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。

自動制御設備	
--------	--



工事場所：福山市丸之内二丁目地内

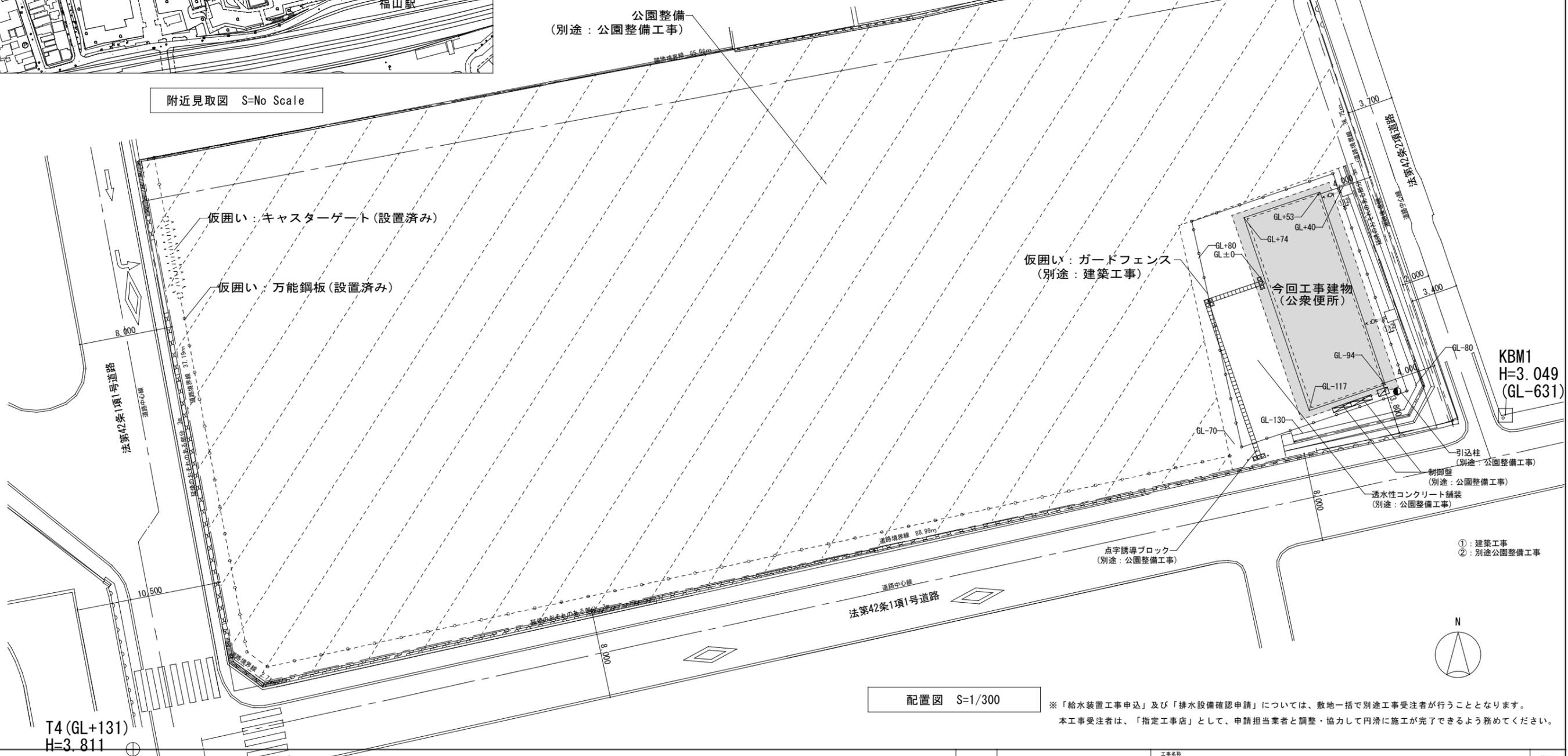


凡 例

	工事車両進入路
	ガードフェンス H=1.8m：別途工事
	仮囲い(万能鋼板)：別途工事
	キャストゲート：別途工事

※仮設計画は参考とする

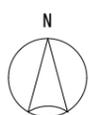
附近見取図 S=No Scale



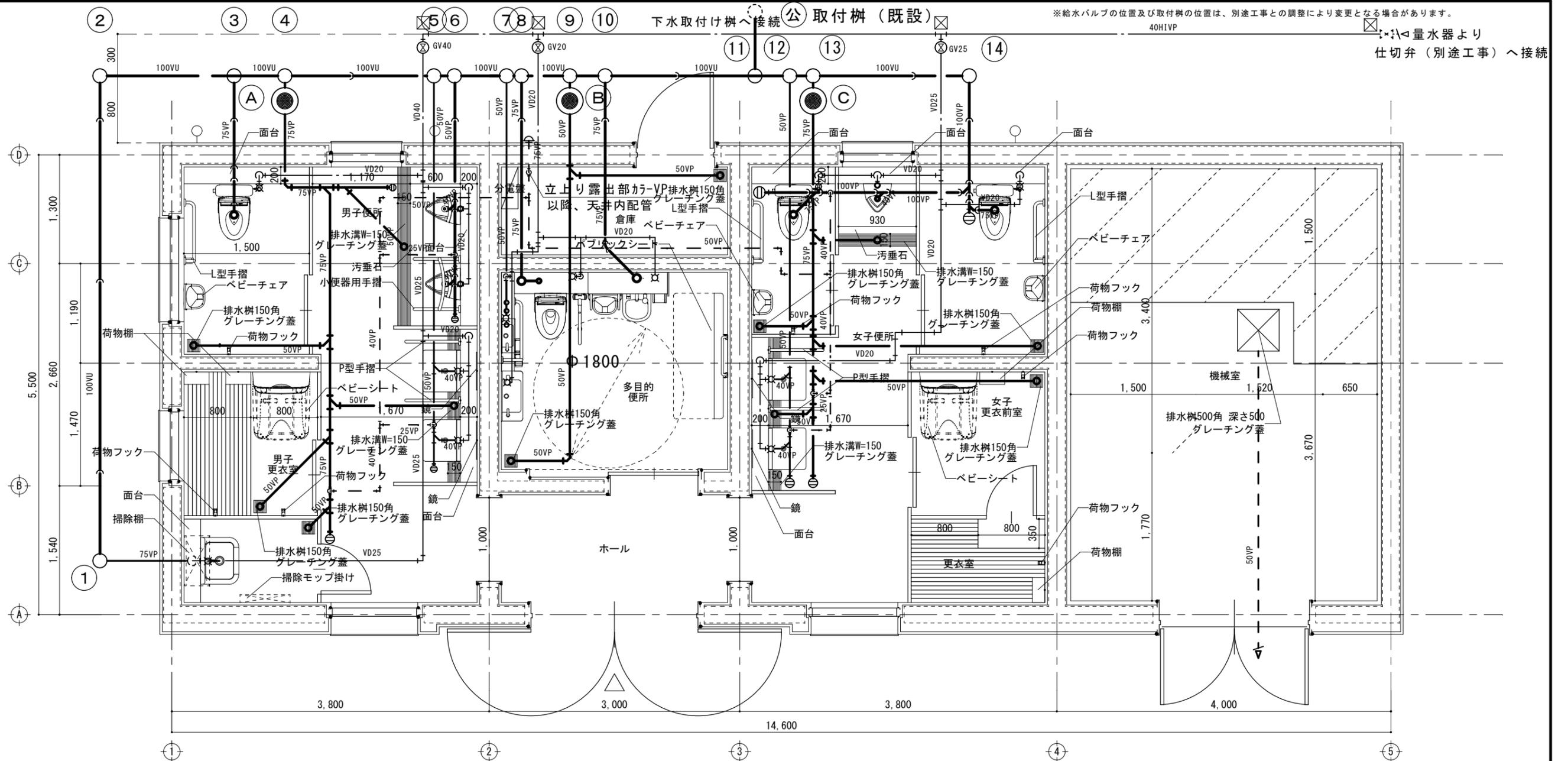
KBM1
H=3.049
(GL-631)

配置図 S=1/300

※「給水装置工事申込」及び「排水設備確認申請」については、敷地一括で別途工事受注者が行うこととなります。
本工事受注者は、「指定工事店」として、申請担当者調整・協力して円滑に施工が完了できるよう務めてください。



- ①：建築工事
- ②：別途公園整備工事



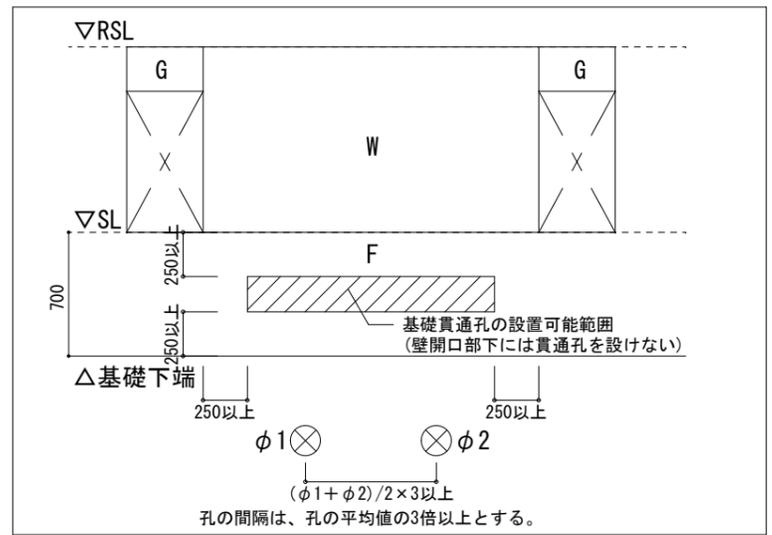
※給水バルブの位置及び取付樹の位置は、別途工事との調整により変更となる場合があります。

40H1VP
量水器より
仕切弁（別途工事）へ接続

※基礎貫通部は右記の「基礎貫通孔位置（参考）」を考慮すること

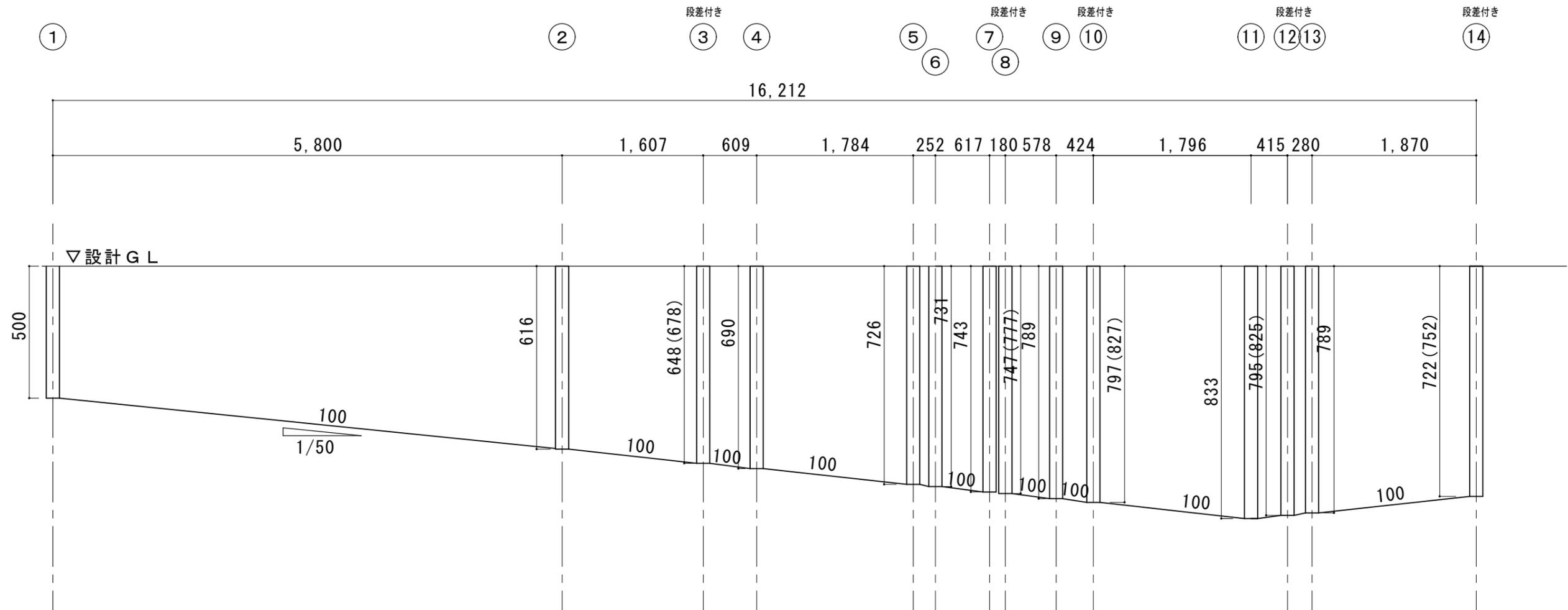
平面詳細図 S=1/50

基礎貫通孔位置（参考）



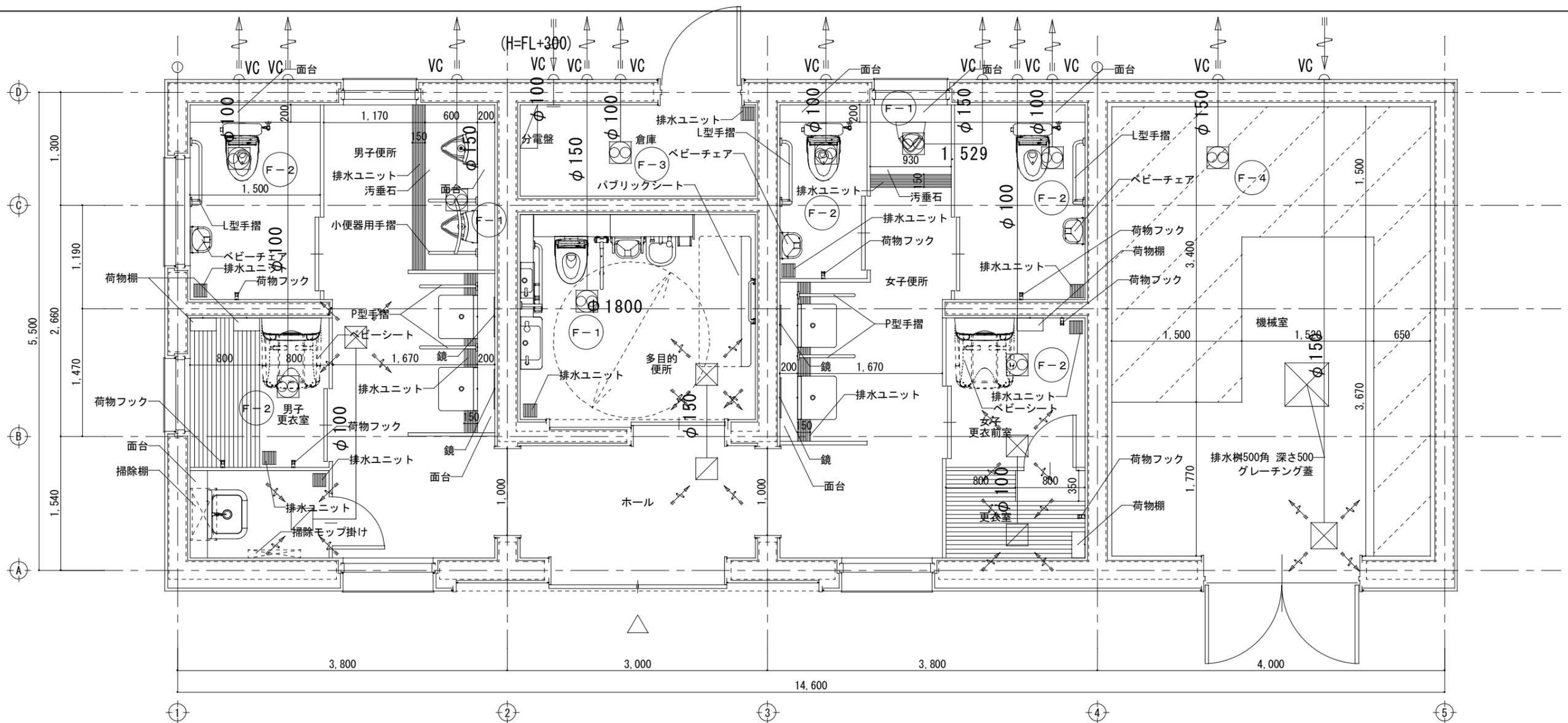
衛生器具表

名称	品番・仕様 (TOTO参考品番)	合計	男女多目的			備考
			男子	女子	多目的	
洋風便器	CS497BCK、SP498BAY、HP496、TC291J、TC60、YH117	3	1	2		
小便器	UFS910 (AC100V)、HP910	2	2			
洗面器	L710C、TLE28SA1W (AC100V 600W)、TLDP1201JA、T9R、T8C	4	2	2		
コンパクト・リアリティパック	UADBK61L1A1ADN1WA、TCF5841AUPR、YM6090A	1			1	
掃除用流し	SK500、T200BSQ13C、T6PMR (マルチシンク)	1	1			
幼児用小便器	U310GY、T601P、T64CP、T9R	1		1		
床上掃除口	CVA (SU) 100	2		2		
	CVA (SU) 75	3	2	1		
	CVA (SU) 50	3	2	1		



新設柵リスト

記号	種類	種類+管径-柵径	ふた	FLから管底までの深さ (mm) 出	備考
1	小口径バ-ト柵	90L 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-500	
2	小口径バ-ト柵	90L 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-616	
3	小口径バ-ト柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-678	段差付き
4	小口径ト-ロツ柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-690	
5	小口径バ-ト柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-726	
6	小口径バ-ト柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-731	
7	小口径バ-ト柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-743	
8	小口径ト-ロツ柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-777	段差付き
9	小口径バ-ト柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-789	
10	小口径バ-ト柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-827	段差付き
11	小口径バ-ト柵	90WLS 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-833	
12	小口径ト-ロツ柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-825	段差付き
13	小口径バ-ト柵	90L 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-789	
14	小口径バ-ト柵	90Y 100A-150φ	樹脂製密閉ふた	-752	段差付き
A	ため柵(トラツ付)	PP 100A-300φ	樹脂製密閉ふた	-500	
B	ため柵(トラツ付)	PP 100A-300φ	樹脂製密閉ふた	-500	
C	ため柵(トラツ付)	PP 100A-300φ	樹脂製密閉ふた	-500	



平面詳細図 S=1/50 (ベントキャップ) ⊠ 給排気グリル (樹脂製360°, 消音型) <三菱PZ-N10, 20FGP相当品>

換気機器表

記号	機器名	仕様	電気容量	台数	設置場所	備考
F-1	天井扇	形式 低騒音形 フラットインテリアタイプ	電源 1φ100V	3	男子・女子・多目的便所	三菱 VD-18ZXP _{1.4} -FP相当品
		風量 350m ³ /h	消費電力 40.0W			
F-2	天井扇	形式 低騒音形 フラットインテリアタイプ	電源 1φ100V	5	男子便所ブース 女子便所ブース×2	三菱 VD-15ZXP _{1.4} -FP相当品
		風量 155m ³ /h	消費電力 14.0W			
F-3	天井扇	形式 低騒音形	電源 1φ100V	1	男子更衣室、女子更衣室 倉庫	メルコ AT-100TCNSJ ₅ 相当品 三菱 VD-08ZC _{1.4} 相当品
		風量 50m ³ /h	消費電力 4.9W			
F-4	天井扇	形式 低騒音形	電源 1φ100V	1	機械室	メルコ AT-100TCNSJ ₅ 相当品 三菱 VD-17ZSC _{1.4} 相当品
		風量 250m ³ /h	消費電力 23.5W			
		形式 ベントキャップ (丸形防風板付) 150φ (排気)				メルコ AT-150TCNSJ ₅ 相当品

【注記】

- 電気容量は参考とする。
- ベントキャップ 排気用：フード (ステンレス製、覆い付ワイド水切りタイプ、網付き)：指定色塗装 (SR-406)

参考数量書

§ 工事名称 丸之内公園便所新築給排水衛生他設備工事

§ 工事場所 福山市丸之内二丁目地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設計書

工事名称 丸之内公園便所新築給排水衛生他設備工事

工事場所 福山市丸之内二丁目 地内

【工事概要】
公園便所新築給排水衛生他設備工事
衛生器具設備工事
給水設備工事
排水設備工事
換気設備工事

丸之内公園給排水衛生他設備工事		排水設備工事		排水設備工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 100A	16	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 75A	4	m			
床上掃除口 (非防水形)	V P用 CVA 100A	2	個			
床上掃除口 (非防水形)	V P用 CVA 80A	3	個			
床上掃除口 (非防水形)	V P用 CVA 50A	3	個			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 75A	9	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 50A	7	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 40A	7	m			
通気・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 25A	2	m			
排水通気金物 (ベントキャップ)	丸形防風板付き 100 指定色塗装	1	個			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)	地中配管 100A	16	m			
プラスチック楯	楯径150 最大排水管径100 90L、45L 塩ビふた付 ~ 500	1	組			
プラスチック楯	楯径150 最大排水管径100 90L、45L 塩ビふた付 501 ~ 800	2	組			
プラスチック楯	楯径150 最大排水管径100 90Y、45Y、45YS 塩ビふた付 501 ~ 800	8	組			
プラスチック楯	楯径150 最大排水管径100 90Y、45Y、45YS 塩ビふた付 801 ~ 1200	2	組			
プラスチック楯	楯径150 最大排水管径100 WLS 塩ビふた付 801 ~ 1200	1	組			
プラスチック楯	楯径300 最大排水管径100 UTK、UT、UTL 塩ビふた付 ~ 500	3	組			
根切り(人力)		21	m3			
埋戻し	人力 根切り土 -	19	m3			
山砂		2	m3			

